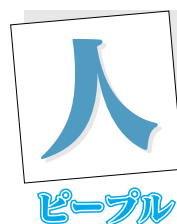


交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

みんなの努力が認められ



土木学会関東支部発表会優秀賞
小菅 香苗さん(22) 横手町

第三十回土木学会関東支部技術研究発表会で「水質タンクモデルを用いた汚濁物流出解析」が第一部門優秀賞に選ばれ、先月二十三日、同支部総会で表彰された。

「発表したのは、昨年度、前

友達もできて

良い経験に



昭和町二丁目・武井梓10歳
五月二十四日に、「楽しくパン作り」という児童文化センターの料理教室に参加しました。パンを作るのはよく見るけれど、自分で作ったことはなかったの
で、とても楽しみでした。
今回のメニューは、ツナコー

ンパンとウインナロールパンです。最初はこの二つのパンを作るだけでしたが、料理の先生が「バナナポト」というパンも作ってくれました。

よくお店でパンを作っているのを見ると、ねったりこねたり焼いたりするので、一日では作れないと思っていました。でもこの教室ではとてもかんたんで午前中に出来上がりしました。

参加する前は、友達がいないのでときどきしていました。でも、教室に入ると友達がたくさんできました。それと、お店では味わえない焼きたてのパンが食べられました。とても楽しくよい体験ができたと思います。

まちなewsのニュース



下川町

スポーツで 三世代交流



橋工大建設工学科四年に在学していたときの卒業研究をまとめた論文です。土屋教授のご指導で研究室の学生が、データ収集や分析に取り組みました。みんなの努力が認められ本当によかったです。

研究では森林地域から川へ流れ込む水を調査するため、利根郡川場村や吾妻郡長野原町の採水場所へ、何度も足を運んだ。

「大雨の時の水質と流量を測るため、一時間おきに二十四時間調査したことも、台風の到来に合わせて行ったので、顔に当たる雨が痛いほどでした。今では楽しい思い出ですね」

卒業後は、同大の大学院へ進み、今は博士前期課程一年。大学時代の研究を続けている。

「自宅が利根川の近くで子どもたちは、父や兄と釣りをして遊びました。河川や環境についての研究を選んだのもこれが理由。体を動かすことが大好きで、高校まで剣道をやっていました。だから、ハードな現地調査も苦になりません。将来はこの研究で学んだことを生かせる仕事に就きたいな」

ふるさとの川が汚されていくことが気掛かりと顔を曇らせるが、はつらつと研究を続ける目はきれいに輝いていた。

六月七日、下川町自治会は「三世代スポーツ交流会」を町内の中央公園で行いました。八年目の今回は、グラウンドゴルフに六十八人が参加。十三チームに分かれて汗を流しました。

各チームは、勝利を目指して熱心にボールを打ち込みます。中には力が入りすぎ、公園の外にボールが飛び出してしまった小学生も。競技後、町の婦人会が用意した豚汁を味わいながらの楽しい交流会。三世代の心が触れ合う一日となりました。

高橋治自治会長は、「体を動かした後、みんなで食事しながらのおしゃべり。これが楽しいんですよ」と語っていました。